



特定非営利活動法人

教育支援協会

Supporting Union for Practical-use of Educational Resources

NEWS LETTER

Vol. 31・2013・09

総会報告

学力テスト・大学入試改革に向けて

全国の活動の様子

ふくしまキッズ

本の紹介

ご案内

**NPO-
SUPER**



総会報告

平成25年度第15回通常総会が5月26日（日）に開催され、以下の議案が審議され、滞りなくすべての議事が承認されました。

(1) 平成24年度活動報告および平成24年度第14期決算報告

(2) 新組織体制に対する議案

2011年6月にNPO法の改正が行われ、従来の内閣府認証のNPOと都道府県認証のNPOの形から、すべてのNPOが都道府県の認証を受けるNPOとなった。そのため、前年度から東京本部機能を暫時縮小し、連合型NPOとしての教育支援協会に向けて、以下のように組織体制を再編する。

- ◆ 教育支援協会東京事務局・経理本部の経理機能を横浜事務局へ移管し、東京事務局は将来の全国教育支援協会へ向けた組織機能だけを残すこととする。
- ◆ 教育支援協会横浜事務局を当面の協会本部とし、今年度の教育支援協会の活動の全てを統括する。
- ◆ 事業活動を行う支部は全て2016年度までに各県のNPOとして独立する方針に基づいて、各地区の教育支援協会が連携する「全国教育支援協会」の設立に向けて準備を進める。

(3) 従たる事務所の移転に伴う定款変更

北関東支部の住所変更 群馬県前橋市下井手町二丁目33番地12号⇒群馬県前橋市下大島町746番地1号リエス前橋大島103

(4) 平成25年度事業活動計画および平成25年度第15期予算の承認の件

平成24年度は連合型教育支援協会体制が5年目に入り、自立・発展するNPOも出てきた。25年度は各地域の教育支援協会の独立運営を図るとともに、NPOが主導する「新たなる公共」の実現に向けた全国組織としてのNPO活動を作り出すため、各地区の自主事業の確立に向けた事業運営を基本的な目標とする。

組織体制改革目標

① (今年度目標)

教育支援協会の全ての支部を独立させ、連合型の全国教育支援協会組織の原型を構築する。

② (2016年までの目標)

1. 現在の教育支援協会を全国教育支援協会と改変し、各地区の教育支援協会が参画するNPOとする。
2. 全国教育支援協会を政策提言や理念提案の組織として、ボランティアな連携を基本とし、具体的な事業は行わず、組織の代表者や理事の交代が可能な組織体制とする。

平成 22 年度からスタートした「新たなる公共」の実現に向けた NPO 活動を作り出すテーマは来年度も継続とし、本協会の最大の課題とする。そのため、国の予算に頼ることなく、自主事業の確立に向けた事業運営を基本的な目標とし、本年度も主たる事業として放課後子ども教室、自然体験活動へ取り組むものとする。

組織目標

①（短期目標）

教育支援協会を連合型の全国組織の NPO とするとともに、他の NPO とも連携し、「新たなる公共」の実現に向けた NPO のネットワークを実現する。

②（長期目標）

1. 地方分権社会の実現に向けて、「新たなる公共」を基本とした社会の実現を目指す。
2. 地域教育力の育成を通して、教育における学校中心主義を廃し、青少年の社会参画・社会貢献活動を作り出すために、生涯学習社会の実現を目指す。

事業項目と予算案の概説（金額等の詳細は別紙予算書参照）

① 自然体験活動事業〔自主事業・助成金事業〕

1. 自然体験活動プログラム「ネイチャーキッズ」の実施運営
2. ふくしまキッズ実行委員会の事務局運営
3. 自然体験活動団体の全国ネットワークの構築に向けた活動の展開

② 地域教育事業〔自主事業・助成金事業・委託事業〕

1. 放課後子どもプランによるアフタースクールの運営
2. 地域放課後活動施設運営
3. 「だがしや楽校」の運営
4. 家庭的保育事業の運営

③ 不登校生徒・児童支援事業〔自主事業・委託事業〕

1. 不登校生徒・児童に対する適応教室の運営
2. 青少年健全育成拠点の運営

④ 民間教育指導者育成事業〔自主事業・委託事業〕

1. 英語指導者養成事業及びコーディネート事業の実施
2. 地域教育活動指導者養成事業及びコーディネート事業の実施

⑤ 生涯学習講座事業〔委託事業〕

1. シニア大学運営事業

⑥ 文化教育関係事業〔自主事業・委託事業〕

⑦ 教育プログラム開発事業〔自主事業・委託事業〕

学力テスト・大学入試改革に向けて

代表理事 吉田博彦

教育支援協会では設立以来、教育政策について行政サイドと民間サイドの意見交換やそれを通じた官民の協力関係を作り出すため、「教育政策懇話会」を開催してきました。この会では教育に関するテーマを決め、民間教育関係者と教育行政関係者が熟議を行い、今後の教育制度についての政策提案に結び付ける活動を行っています。

2012年度は「学力テストのあり方」をテーマにして、代表世話人を私が、事務局を会員の林さんが務め、学力テストの専門家として東北大教授の村木さん、東工大教授の吉川さん、教育現場関係者として中学校校長の平川さん、小学校校長の小正さん、行政関係者として国立教育政策研究所教育課程研究センター長の神代さん、総務省情報流通行政局課長の安間さん、民間企業から日経リサーチの鈴木さん、三菱総研の佐々木さん、教育測定研究所の山梨さんというメンバーで議論を進めました。

2012年度のテーマを「学力テストのあり方」にしたのは、日本社会が「品質」について厳しい社会ですが、教育の現場において多くの学力テストや選抜試験等が行われているにもかかわらず、そのテストや試験の「品質」についてはほとんど議論されることもなく、ただテストの結果だけが一人歩きする状況を変えようという問題意識からです。そして、教育においてどのような改革を進めても大学入試が変わらない限り改革がなかなか進まないということもあり、大学入試のあり方、特に英語の入試に対しての提言をまとめました。

今回の議論は、2007年度より実施されている全国学力・学習状況調査が目指したことにに関して、当時の文部科学省事務次官の東京国立博物館長の銭谷さんのお話をうかがいすることから始め、日本の戦後の学力調査がどうだったのか、それがどのように教育政策を立案するに当たって影響を与えたのかについて一年半の議論を進めました。

そうした議論の結果を2013年6月に提言書をまとめ、その内容を「重複分冊法などの新しいテスト技術の採用、ICTを活用した学力調査の実施、英語の大学入試改革について」に絞って提言しました。提言1としては「全国学力調査の改善」を求め、単なる都道府県の比較に終わらないテストのあり方を示しました。また、提言2としては「英語テストの改善のために論理的思考力を問う英語のテストとICTを活用した英語のテストの実施」を、そして大学入学者選抜試験の改革については、この提言書をまとめているときに出てきた「大学入試にTOEFLを活用する」という方針に対して、TOEFLだけでなく外部検定試験等を大学入学者選抜に活用することを緊急提言としてまとめました。

その提言書を現在教育支援協会より各関係方面へ送付しており、この提言書を題材に今年の秋にもシンポジウムを行う予定です。今回のニュースレターとともに会員の皆様にもこの提言書をお送りいたしますので、ご一読いただければ幸いです。

横浜事務局

自然体験活動 “ネイチャーキッズ”



薪割りは夢中になれる体験活動の一つ

7月21日より今年の自然体験活動が始まりました。今年も神奈川の子どもたちや現地の子どもたちが交流しながら、学びのある自然体験活動が行なわれています。今年の概況は、参加者約1,200名、参画団体14団体、実施県11県+大島・三宅島となり、参加者ならびに参画団体ともに日本全国に広がり、支援いただくボランティアの多くの方に関わっていただいております。プログラムにおいても海・山・川をはじめ農山村においても活動を広げています。

自然体験活動は、様々な体験を行うことによって、自らが生きる力を身につけてもらう活動ですが、加えて日本全国の活動団体の皆様が体験活動に参画していただくことにより地域の活性化にも寄与しております。今後の活動の方向性として、神奈川を中心とした従来の募集に加え、ふくしまキッズとも連動しながら全国でネイチャーキッズが募集でき、ひいてはジャパンキッズにまで発展していくことを考えております。各地の体験活動に参加していただける皆様がおりましたらご支援のほどお願いいたします。

家庭的保育事業



去年11月より本格的に始まりました横浜市「家庭的保育」。協会でも南区の事務所近くで開園となりました。0歳児～2歳児の乳幼児が現在4名利用しています。定員は9名まで、そこに職員が常時3名つき、恵まれた環境の中で子どもたちの育ちを支援しています。横浜市版緊急保育対策を国を挙げて推進しておりますが、開園した後の、保育園の作り過ぎや保育の質の低下等が今後の課題となっています。協会の運営する保育園は、保育の在り方を横浜市に問う、良き実験の場となっています。子どもの育ちの課題が多く見受けられる南区において、これからもフリースペースみなみと連動して子どもたちの育ちを支援していきます。

寄り添い型学習等支援事業



厚生労働省主管の下、全国において子どもたちへの「貧困の連鎖防止」に対する取り組みの一つとして、生活保護家庭をはじめとする、複合的に困難を抱えた子どもたちの学習支援が始まりました。

協会においても今年6月より中学生を中心として、中学卒業から、高校に合格し、卒業することを目標とした学習支援がスタートしました。現在は先ず公立高校に入学することを目指し約25人の中学3年生が学習活動に励んでいます。今後の課題として高校に入ったはいいが、中退しニート、フリーターとなり再度保護家庭となる子どもたちをいかに支援していけるのかが課題となっています。その前に先ずは公立高校合格です。

放課後事業 放課後キッズクラブとは？

横浜市が実施している学校の施設を利用した放課後の児童の居場所です。現在、横浜市内には85箇所のキッズクラブがあります。放課後キッズクラブでは子どもたちの「生活の場所（静かに過ごす部屋）」と「遊びの場所（元気に過ごす部屋）」を提供しています。

- ・教育支援協会が運営委託されている放課後拠点
放課後キッズクラブ7か所 放課後児童クラブ（学童）1か所

埼玉支部

シニアユニバーシティ 夏休み中の特別企画

8月27日（火） 埼玉大学での授業 例年2年生を対象に講座を実施しています。本年は教育学部大橋修一先生にお願いし、「漢字の文化史」という演題で講義を行ないます。教室の収容人数の関係で、午前は浦和地区、午後は大宮地区の学校の生徒さんが参加します。大学の教室をお借りしての講座なので、皆さん大学生気分を味わうとともに若干の緊張も伴います。それでも午前の講座終了後、あるいは午後の講座に参加する前に、カフェテリアで昼食をとるなど、この日ばかりは埼玉大生気分になります。

ねんりんピック高知大会

10月下旬に高知県全県を舞台に実施されます。本年のさいたま市選手団は160名規模となり、過去最大の規模が見込まれます。出場される皆さんの意気込みが感じられます。

北関東支部



第2回
チーム対抗



ネイチャーキッズ 自然体験

SUPER KIDS ENGLISH CAMP 夏&冬 開催!

2013年 8月 4日～6日

2013年 12月 26日～28日 (予定)

ネイティブの先生達と過ごすミニ留学体験!

好評につき、
リピーター
増加中!

多彩な放課後活動プログラムを展開中!

- ◆ 親子ろんご教室 12月開催
- ◆ あしかが小学生 ことば王選手権
- ◆ ものづくり研究所「おみせや」さん 開催
- ◆ チャレンジ!ライブラリアン 図書館探検隊!
(子どもゆめ基金助成金事業)
- ◆ Mキッズサミット(子ども体験・熟議プログラム)

放課後活動「地域子ども教室」の開催 群馬県内・栃木県内 30クラス

♪放課後イングリッシュ ♪ことば研究所 ♪ものづくり研究所

群馬県内: 前橋市・高崎市・渋川市 栃木県内: 足利市・佐野市

※文化庁委託事業: 文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした地域活性化事業)

大人のための講座 : ぐんま小学校外国語活動実践連続講座 開催中

東京第二支部

東京第二支部では、放課後の教育支援だけではなく、小学校でのさまざまな教育支援も行っています。小学校の支援は、理科実験・外国語活動・生活科・総合的な学習の授業支援や個性的な子どもの対応、教員指導などが中心となっています。

●自主事業のアフター・スクール「多摩っ子クラブ」と、立川市から委託されている「けやき台第二学童保育所」「西砂第二学童保育所」も夏休みをむかえ朝8時より活動が始まり、スタッフも奮闘しています。「わくわく昆虫探検隊」「おもしろ工作教室」「おもしろ理科実験」「多摩川源流体験」などの夏休みのお楽しみスペシャルプランも子どもたちの人気になっています。

●学校支援活動では、小中学校3校で夏休みの補習授業を実施しています。また、学力向上推進校となっている小学校2校では1学期に実施した学力テストの採点・分析作業をしています。

●教員養成の実習も夏休みのプランで充実したものとなっています。また、採用試験の面接のトレーニングも実施しています。

●J-SHINEが小学校で活躍できるための実践の場も作っています。

全国の活動状況

NPO 教育支援協会北海道

「放課後てらこや」スタートしました！

これまでも活動してきた

- ・ 放課後イングリッシュ
- ・ 放課後おもしろサイエンス



に加え、北海道教育委員会協力のもと「放課後てらこや」がはじまりました。北海道大学や十勝の私塾など、他団体とのさまざまな連携のもと全道 4 会場で活動中です。8/12 には本部所在地・北海道帯広市にある「藤丸百貨店」とコラボレーションし、てらこや事業の一環であるイベント「だがしや楽校ほっかいどう ふじまる店」を開催いたします。



<http://kyoikushien-h.com>

教育支援協会北海道

検索

NPO 教育支援協会長野

教育支援協会長野は、4月より事務所を移転しました。いままでは諏訪市にありましたが、同じ諏訪湖周辺の岡谷市に移り、継続して活動を行っていきます。

平成 25 年度の教育支援協会の主な活動は、夏・冬のネイチャーキッズとふくしまキッズ信州木曾路プログラム、放課後キッズの拡大です。

今年の夏のネイチャーキッズは、木曾福島の虫キングダムと山里ものづくり楽校、山梨県立八ヶ岳少年自然の家で行う大草原冒険キャンプ、国立高遠青少年自然の家で行う南アルプスの森初級キャンプ、そして塩尻地区の地球博物館を中心に活動する塩嶺サイエンスキャンプです。毎年、たくさん子どもたちが参加してくれますが、今年も約 350 人の子どもたちが信州を訪れます。また、昨年春に、ふくしまキッズ信州塩尻プログラムを実施し約 30 名のふくしまの子たちを受け入れましたが、今年は夏に、信州木曾路プログラムを実施し、約 30 名の子どもたちを受け入れる予定です。



NPO 教育支援協会東海

平成 24 年度は、独立した NPO の 5 年目として、昨年度に引き続き、小学校英語必修化に対応すべく、J-SHINE 指導者養成講座の運営委託事業に取り組みました。愛知県の各教育委員会に出向き小学校英語の実態調査を実施するとともに、地域人材の活用に関する提言を積極的に行いました。

平成 24 年 9 月には、名古屋 JC とともに、「リアル熟議 in 名古屋」を開催、小学生から大人まで幅広い年齢層の人たちにお集まりいただき、「地域で何ができるか」をテーマに熱い熟議を展開しました。小学生の意見がすばらしく、参加した大人たちが驚嘆していたのが印象的でした。

昨年度に引き続き、平成 25 年 3 月 25 日から 3 月 31 日の期間、「ふくしまキッズ in 飛騨高山」の運営に当たり、被災した福島県の小学生と高山市・垂井町の子どもたちとの交流を行いました。地元高山市からは、次年度以降も継続したいとの強いご要望をいただきました。

名古屋市内の保育園（3 園）にて、子育て相談を行っているが、これは今後も継続していく予定です。

また、今後名古屋市内の放課後教室の運営に携わるべく準備を進めていく予定です。

NPO 教育支援協会関西

関西では、主に大阪市子ども青少年局から委託を受けて不登校の居場所の運営を行っています。平成 17 年度から大阪市として不登校事業を開始してから今年度で 8 年目となり、現在は大阪市内に全 15 ヶ所あるサテライトと呼ばれる居場所のうち、2 ヶ所を受託し、6 名の専属スタッフが週 4 日それぞれ小、中学生を対象に関わっています。

居場所としての目標は、利用する青少年に対して、「安心」「休息」「自信」を得ることのできる場所であると同時に、家族以外の人間と接し、集団生活を身に付ける場所であること、また、個々の抱える不登校という行動を起こしている青少年の課題を明確にするとともに、青少年と本事業に関する大人（スタッフ）との人間関係を構築することで、保護者と青少年との人間関係および信頼関係を構築する、また、本事業そのものが青少年と保護者、学校、地域の関係機関との仲介役になり、総合的な支援で青少年の抱える課題解決に取り組み、青少年の再登校及び社会復帰を目指しています。個々の課題解決に対しては、居場所での様子やスタッフとの関わりにおいて①「生活面」、②「人間関係面」、③「学習面」などの側面から課題を見付けだし、本事業専門の相談員（臨床心理士）と共に解決を目指しています。

【相談窓口】 子ども青少年局 子ども相談センター 教育相談グループ TEL06-4301-3181

事業担当者：井上 晃

NPO 教育支援協会九州

今年度の年次総会を平成 25 年 6 月 15 日(金)九州事務局で開催しました。議決権を持つ正会員 12 名中 11 名の出席(委任状出席含む)で平成 24 年度の決算および事業報告、平成 25 年度の事業計画および予算案が承認されました。

また、3 月下旬に開催された「ふくしまキッズ熊本プログラム」の報告会も行われ、熊本プログラムコーディネーターの山内一平氏より写真・動画を使って報告されました。



写真はふくしまキッズ熊本プログラム報告中の山内氏

NPO 教育支援協会沖縄

ハイサイ！常夏の沖縄。青い海、青い空、深緑のやんばるが、ネイチャーキッズのみんなを待っています。今年は、リーフウォークやシュノーケリング、ジャングルカヌーにやんばるの森トレッキングなど自然の中で遊び、学び、生きる力を育むプログラムです。

みんなの笑顔を見るために、スタッフ全員一生懸命に準備中です。

ネイチャーキッズ以外に沖縄では、

- ① 他の NPO と協働で沖縄県のキャリア教育の推進のための活動を実施しています。キャリア教育に関するシンポジウム、講演会やワークショップを企画中。
- ② J-SHINE (NPO 小学校英語指導者認定協議会) 認定の小学校英語指導者養成講座の受講者を募集中。
- ③ 地域教育事業として、エコスクール、放課後こども教室、だがしや楽校の企画運営。各詳細については、お問い合わせください。

<http://www.ksk47.org> mail@ksk47.org



ふくしまキッズ



福島第一原発事故がおきた2011年夏休みから始まったふくしまキッズも、今年で3年目に入りました。この2年間の活動を通じ、福島の子どもたちの生きる力が育まれていることも昨年の調査で分かってきました。また、この活動に関わってくださった団体や地域ボランティアの大人にとっても、大きな何かを与えてくれています。

まだまだ福島の実状は余談を許さず、子どもたちにとっても不便な生活が続いています。皆様の引き続きのご支援をお願い致します。

- ・ 支援金受付口座：東邦銀行 棚倉支店（店番号 305）
（普通）574540
- ・ 口座名義：
ふくしまキッズ実行委員会 実行委員長 進士 徹
（カナ名義）：
フクシマキッズジッコウインカイ

本の紹介

「熟議のススメ」 社会創発塾塾長 鈴木寛著 講談社刊 1,400円（税別）

教育・医療・町おこしの現場で年間10,000回も開かれている熟議とは？
対話、共感、自発で対立、混乱、矛盾をのみこみ、好循環を創発する方法。

ご案内

寺脇さんと呼んでみませんか？

教育支援協会チーフコーディネーター寺脇研さんが、本当の教育とは？子どもたちにとって必要なこととは？それらの疑問に答えるべく皆様のご要望があればどこでも来てくださいます。講演料は応相談。交通費・宿泊費のみの負担をお願いします。

連絡先：企画室 弦 吉原秀則

TEL;03-6272-9711 E-mail:yoshihara@tcat.ne.jp

